



保育科通信

第7号 平成30年9月26日

こどものくにを終わって

9月15日(土)・16日(日)の文化祭で、3年生は「こどものくに」を行いました。

今年のテーマは「うみ」で、会場となった保育実習棟には、うみの底にできたまちをイメージした装飾が施されました。



今年のこどものくにには、入口を遊戯室に設置しました。

今年もたくさんの方々楽しんでいただきました。



<3年生の感想>

- ずっと楽しみにしてきたこどものくにがあっという間に終わってしまい、寂しいです。しかし、子どもたちや来て下さった方が笑顔になっている姿を見て、今まで頑張ってきてよかったなと思いました。また、このような実践的な学習ができる環境にあることに、とても恵まれていると感じました。
- 大変で辛くなっているうちは目の前のことしか見えなかったけれど、たくさんのことを学ぶことができました。昨年卒業された先輩が来て下さり、「すごい」と褒めてくださいました。後輩から学ぶこともたくさんあることを教えていただきました。来年、再来年、その先も後輩たちが保育科の集大成として伝統を引き継いでいってほしいと思いました。
- 私は、こどものくにを通して、「自分はまだまだできる」と感じました。今まで何をやっても無理だなと思ったら諦めてしまっていたけれど、今回は途中で投げ出すことができなかつたし、そのおかげで、ものすごい達成感を味わうことができました。どんなに辛くても最後はやってよかったと思うので、今後も諦めずにやり遂げていきたいです。

< 3年生の感想 >

- こどものくにを終えて学んだことは「助け合い」でした。色々な思いや意見がある中でまとめるのはとても難しいし、得手不得手もひとそれぞれで、だからこそ助け合いの力は、とても大切でした。今後、実習やおわかれ会とたくさんあるので、悔いが残らないように頑張りたいです。
- 3年前からどんな「こどものくに」をつくるんだろうと先輩方の作りあげてきたものを見ながらずっと考えていました。こんな風にしたいな、見に来てくれた人が笑顔になれるものを作りたいな。先日まではそれが夢だったのにいつの間にか終わっていて、笑顔のこどものくにが出来上がったと思えました。この経験は、私の宝物になりました。
- 夏休み中は正直終わるのかとても不安でした。自分たちの班だけでなく積極的に他の班を手伝ったりして、なんとか終わらせることができ本当に良かったです。来てくれた子どもたちがとても楽しそうに遊んでくれて、その笑顔を見て本当にがんばってよかったと思うことができました。3歳くらいの子が「ぼく楽しい、幸せ」と言ってくれたことが本当にうれしかったです。
- 何事も報告、連絡、相談、確認が必要だと思いました。どんなに小さなことでもそれらができていないと大きなズレとなってしまうことがあるので、気を付けたいです。それは、こどものくにだけでなく、社会に出ても大切なことだと思います。何事も「ほうれんそう」を忘れず行動したいです。
- 共通理解の大切さ、自分とは違う視点で見ること、よく考えてよい方法を見出す力を身に付けました。共通理解は、何度も先生方から教わったことですが、いざやってみると難しく、伝え合うことも難しさを分かりあえて納得して次に進める喜びを味わうことができました。周りにどのように見られているのかは、なかなか考えることがなかったので、こどものくにで深く考え、きれいに見せる工夫をしっかりとできるようになりました。今回の経験を活かして、今後新しい提案をしていきたいです。

< 2年生の感想 >

- 「やおやさん」でもらったおみやげは、今までになかった発想でした。ふたを開けるとちゃんとお店になっているのもすごいと思えました。
- どの先輩も目が合うと笑顔で「こんにちは」と言ってくれる雰囲気から、笑顔が大事だということが伝わりました。自分も小さいころに戻ったように楽しむことができたと同時に、来年、これ以上のものを作れるのか心配になりました。
- 一番びっくりしたのが海賊学校のおみやげで、どのような構造になっているのかとても気になった。どれも一つひとつが丁寧で頑丈だったのでこれからもお手本にすべきおもちゃだと思えた。
- エレベーターの工夫がすごいと思えました。乗っているとその場にいるだけでワクワクしました。
- バリエーション豊かな遊びや装飾、それぞれが一つ一つの空間に個性があったように思えた。扉をスライド式にしてあったのは、初めて見た。思いつかなかった。先輩方が笑顔で大きな声ではきはきと案内してくださった姿がとてもかっこよく見えた。来年、私たちも先輩方のように、お客さんに心から楽しんでもらうと同時に、自信をもって「頑張った」「素晴らしいものが作り上げられた」といえるようなこどものくににしたい。そのためには、周りに目を向け、いろいろな仕掛けや装飾を観察していきたい。
- 今回は、どのおもちゃもコンパクトで紙袋にいれやすくて良かったです。招待状で、片方のイカとタコをひっぱると両方が出てくる仕掛けがすごかったです。どんな仕掛けになっているのか、研究したいと思いました。
- 去年と入口が違って、毎年のことだけれど、自分の居場所がわからなくなりました。全体的に青と水色で落ち着く感じがしました。
- 海のまちという設定が細かいところまであって本当に海の中にいる気持ちでした。説明も短い言葉なのにわかりやすかったです。回っているときに「すごい」「来年どうしよう」「たのしみ」といろいろな気持ちでいっぱいになりました。

< 1年生の感想 >

- 私の想像よりもずっと完成度が高すぎてびっくりしました。どのおもちゃも仕掛けが多くてわくわくが止まらなかったです。どんな風に作られているのかいろいろと考えましたが、全くわかりませんでした。
- 元の部屋がまったくわからないくらいに装飾されていて、こどものくにに入ってから出るまで「すごい」という言葉しか出なかった。もっと勉強して、2年後、先輩方よりももっと「すごいね」と言ってもらえるようなものを作りたいと思った。
- 壁などにあるキャラクターや魚、花などは小さい子の目線でも見やすいように大きくしてあったり、おみやげの説明もわかりやすかったので、すごいなと思った。
- 360度どこを見回しても別世界に来たような感覚になれる程作りこまれていて、高校生が作ったとは思えない完成度でした。

こどものくにを終えた3年生は、保育実習の準備を始めました。

1・2年生も検定等に向けて、頑張りましょう。